

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立津山商業高等学校		
実践者等		ホームルーム担任	実践日	令和3年度秋
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		(学校行事) 津商モール		
対象生徒(学年等)		全校生徒		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化 ☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用 ☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☐ その他 ()		
		家庭学習		
		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 令和3年度、第13回を迎えた全校販売実習「津商モール」では、各クラスで店舗を持ち、店長・副店長を中心に活動している。係会を定期的に開き、スムーズな運営に努めてはいるが、各店舗内での情報共有には課題があったため、店舗ごとにClassroomを作り、活用することとした。 3年1組 第13回 津商モール 課題を表示 3年2組 第13回 津商モール 課題を表示 3年3組 第13回 津商モール 課題を表示 3年4組 第13回 津商モール 課題を表示 Classroomのメンバー(全体運営:教員・生徒 店舗運営:クラス担任・クラス生徒) (Classroomを活用した取り組み) Formsを使い、あらかじめ意見を集約しておく 係で取り組んだこと、進捗状況をコメントで連絡 全体運営に関わる教員・生徒が各店舗の進捗を把握 (メリット) → ホームルームでの話し合いや活動時間の確保 → 他の係の進捗状況も把握できる 意見の収集 → 係会へ反映、各店舗への指導へ活かす (デメリット) ホームルームのClassroomとの併用 Classroomを確認する習慣化が不十分 → 情報が散在することになる → 1人1台端末の整備中 (Google Workspace for Education 活用の効果) 以前は、係の仕事が、放課後に時間がある生徒に集中する傾向があったが、Google Workspace for Education の活用により共同作業ができるため、空いた時間を利用できるようになり、分担をして取り組むことができるようになっている。 【本時と家庭学習との連動】 (本時前) (本時後)				